

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:平成 31年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス はなまる都島店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティションを使用して空間を区切り、活動スペースを明確にしています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		各研修に参加し、職員の資質向上を図っております。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者との面談の場を設け、成長や課題について明確にし、支援計画に反映しております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援計画に基づき、日々の支援内容を決定しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月毎に職員同士で話し合い月間プログラム及び児童の支援計画の確認を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		週ごと・曜日ごとのプログラムに加え、個別でのプログラムを取り入れています。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		連絡事項の共有、児童の情報共有の機会をとるようにしています。	連絡事項の伝達だけでなく、児童の様子や、毎日のプログラム内容の確認・支援内容の確認を密に行ってまいります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		プログラムへの取り組み内容についての、反省・改善点を話し合い、次回へと繋げられるよう、打合せの頻度を高めています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援内容に加え、児童の様子で気になる点など細かく記録をとり、支援内容の改善に活かせるようにしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		定期的に医療機関での受診がある児童に対して、かかりつけ医や福祉・保育施設との情報共有が出来るよう、連携をとる仕組みを取り入れていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		各児童の主治医、もしくはかかりつけ医を把握し、連絡体制を整えてまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保育園・幼稚園等、児童が通園している施設の担任もしくは担当職員と、児童の様子や支援内容について情報共有し、連携して支援へつなげられるようにしてまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		就学・進学先の担任もしくは担当職員と、児童の様子や取り組んでいる支援内容について情報共有し、連携して支援へつなげられるようにしていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他事業所・相談支援事業所と連携を取り、児童についての情報共有、支援内容の振り返りを行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		事業所利用の児童以外の子どもたちとも、交流できる行事等への参加を検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳に加え、送迎時に保護者に様子を伝えたり、LINEやSNS等で行事や支援の様子を発信しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		保護者との日々のやりとりだけでなく、支援の様子をより細かく伝えたり、必要に応じて、ペアレントトレーニングを取り入れる仕組みを計画してまいります。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的な、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会の開催など、保護者同士の交流や情報交換の場を作ることが出来るよう、企画・開催を目指してまいります。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者とのやり取りの中で相談等あれば必要に応じて、面談を行い相談支援や支援内容の見直し等に取り組んでおります。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HP・SNS等で活動内容や行事の様子について発信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域行事に参加するだけでなく、事業所での行事も知ってもらい、様々な面で交流をはかれるようにしていきます。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	施設における避難経路や方法等、全職員が把握できるよう、定期的に訓練を取り入れてまいります。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	アレルギー保有児と項目の一覧表を作成し、常に確認できるようにしています。	診断書及び対応手順を明確に記載し、職員間で対応方法の把握が出来るよう取り組んでまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束についての、マニュアルを作成し必要に応じて保護者に事前に説明し記載していきたいと思っております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。